

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
大宮ビューティー＆ブライダル専門学校	平成23年3月28日	岩崎 和友	〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-389-3 (電話) 048-658-0860
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居 敏	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
学校教育法に基づき、美容師、ビューティーアドバイザー、ブライダル等の関連分野において活躍する人材を育成する為、必要とされる知識と技能を教授することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
美容科	2年	131人	262人
ヘアメイク科	2年	96人	192人
トータルビューティー科	2年	116人	232人
ウェディングプランナー科	2年	44人	88人
ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2年	44人	88人
美容研究科	1年	64人	64人

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件について>

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。 卒業要件単位数は、31単位に当該学科の修業年限相当数を乗じた単位数以上とする。 尚、美容科 及びヘアメイク科 においては、67単位以上とする。	
美容科	美容師国家資格を取得し、美容技術を通して社会で活躍する人材
ヘアメイク科	美容師国家資格を取得し、ヘアメイク技術を通して社会で活躍する人材
トータルビューティー科	主体性・多様性・協働性を身につけ、様々な美容現場で活躍する人材
ウェディングプランナー科	ウェディング・ブライダルのプロとして、婚礼・花嫁の美に関わるサポートを通じ、新郎新婦及びお二人に関わる全ての方に、より良い「節目」を迎えてもらう為のサービス（おもてなし力）を提供できる人材。 I、即戦力となる人材
ブライダルヘアメイク＆ドレス科	（接客力、企画力、成約力、提案力、おもてなし力） II、婚礼に関する専門知識や接客技術を身に付けた人材 III、人の幸せを自分の幸せ以上に捉えることができる人材 IV、自ら考え動ける人材
美容研究科	美容師国家資格を取得し、美容技術を通して社会で活躍する人材

<取得可能な資格について>

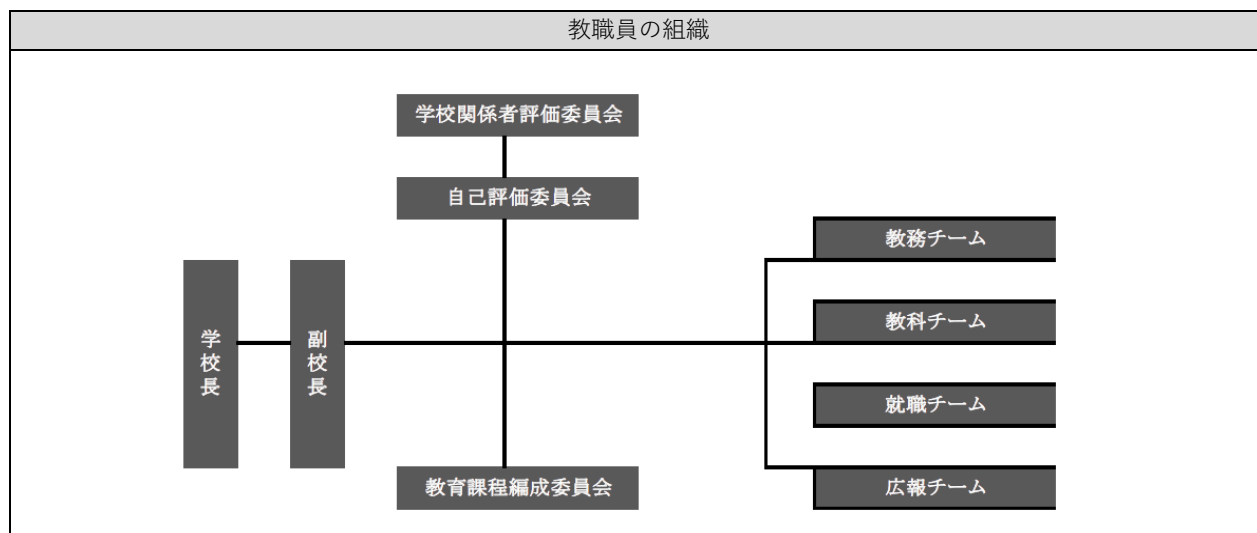
取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/omiya-beauty/jobdata/skill_introduction.shtml
---------	---

<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/omiya-beauty/jobdata/jobdata.shtml
------	---

③教職員

専任教員	34
兼任教員	50
事務職員	5



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
勇 果子	美容師	美容室勤務歴15年
東間 浩子	ヘアメイク	ヘアメイク事務所で2年、アイラッシュ・アイブロウサロンで2年勤務
村松 美幸	ネイル	ネイルサロン勤務歴6年、日本ネイリスト協会本部認定講師
高木 朋子	エステティック	エステティックサロン勤務3年、日本エステティック協会認定講師、日本エステティック業協会認定講師
入江 綾結美	ブライダル	リクルートゼクシィにて2年勤務、ゲストハウスでウェディングプランナーとして2年勤務、ブライダルMC12年

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/omiya-beauty/jobdata/support.shtml
実習実技への取組	【施設実習】（美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科） 10日間の体験実習を行う。“サロン・組織を活性化できる人材を育成する”という本校人材育成方針のもと、基礎的な知識と技術習得を目的とする。企業との事前打ち合わせを実施し、実習期間中には担当教員が訪問をして、技術だけでなくマナーやコミュニケーション指導にも繋げる。実習期間終了後は、企業側に評価を付けていただき、フィードバックを行う。 【インターンシップ】（トータルビューティー科・ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク＆ドレス科） 通年のインターンシップ実習を行う。実際の現場にて1年～1年半実習を行うことにより、知識だけでなく接客力も養い、双方を兼ね揃えることで長く業界で活躍することを目的とする。企業側に評価をつけていただき、現場に即した内容を検討・改善工夫を繰り返し実施している。

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/omiya-beauty/schoolguide/year.shtml
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応	
担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。	

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/pdf/omiya-beauty/guideline_2024/guideline_01.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/omiya-beauty/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---